

病魔退散・厄難消除

# 角大師のお守り

お守りができたいわれ

# 病魔退散のお守りとは？

(病魔退散 Ⅱ 病気が逃げ去ること)

## ● 元三大師と角大師の由来 (原文のまま) 「写真の大きな石碑は元三大師堂の門前にある」

永観二年 全国に疫病が流行して ちまたでは疫病の神が徘徊し 多くの人々が 次々と全身を冒されて いった お大師さまは この人々の難儀を救おうと 大きな鏡の前に自分のお姿を映されて静かに目を閉じ 禪定(座禅)に入られると お大師さまの姿はだんだんと変わり 骨ばかりの鬼(夜叉)の姿になられた 見ていた弟子たちの中でただ一人明普阿闍梨だけが このお姿を見事に写しとられた お大師さまは写しとった絵を見て 版木でお札に刷る よう命じられ 自らもお札を開眼された 出来上がったお札を一時も早く人々に配布して 各家の戸口に貼りつけるように再び命じられ 病魔退散の実を見事に示されたのであった やがてこのお札(角大師の映像)のあるところ病魔は恐れてよりつかず 一切の厄難から逃れるこ



とができた 以来千余年 このお札を角大師と称し元三大師の護符として あらゆる病気の平癒と厄難の  
消除に靈驗を顯わし 全国的に崇められているのである

### ● 元三大師と角大師のいわれ (わかりやすくした文)

永観二年(九八四年、今から一〇二五年前) 全国に伝染する病気がはやって 町中に広がり 多くの人々  
が次々と病気にかかってしまった お大師さまは 人々の病気の苦しみを救おうと 大きな鏡に自分の姿を  
映し 静かに目を閉じて座禅を組み疫病神を追い払うためのお祈りを続けると お大師さまの姿はだんだん  
と変わり 骨ばかりの鬼の姿になられた 見ていた弟子たちの中でただ一人 きびしい修行をつんだ明普と  
いうお坊さんだけがこのお姿を見事に写し取られた お大師さまは写し取った絵を見て 木の板に彫ってお札  
を刷るようにいわれ みずからお札に疫病神を追い払うためのお祈りをした 出来上がったお札を少しでも  
早く人々に配って 家々の入り口に貼りつけるようにいわれ こうして悪い病気を追い払うことができたので  
あつた やがて角大師のお札のあるところには病気がなくなり すべての災難からのがれることができた そ  
れ以来千年以上たつても このお札を角大師という元三大師のお守りとして あらゆる病気をなおすことや  
不幸なできごとをなくすことにききめをあらわし 全国的に信仰されているのである

● 元三大師とはどんなお坊さんだったのでしょうか

慈恵大師良源は永観三年（西暦九八五年）正月三日になくな

ったので別の名で「元三大師」といわれている 比叡山で

第十八世座主（一番偉いお坊さん）となり 僧侶に学問をす

すめて天台宗の教えを世の中に広めた高僧として尊敬され

ている また靈力に不思議な力をもっていたことから今な

お角大師の名で魔よけ・厄除けのお大師さまとして広く信仰

されいまなお魔よけの護符（お守り札）が民家の入り口には

られている 比叡山では大師の遺徳を崇め「元三大師堂」（下

の写真）にお祀りして 毎年一月三日に供養が行われている

● 比叡山とはどんな山でどこにあるのか

比叡山は滋賀県大津市にあり天台宗の総本山である 比叡

山は京都の東北 琵琶湖の西にあり 京都と滋賀の県境を

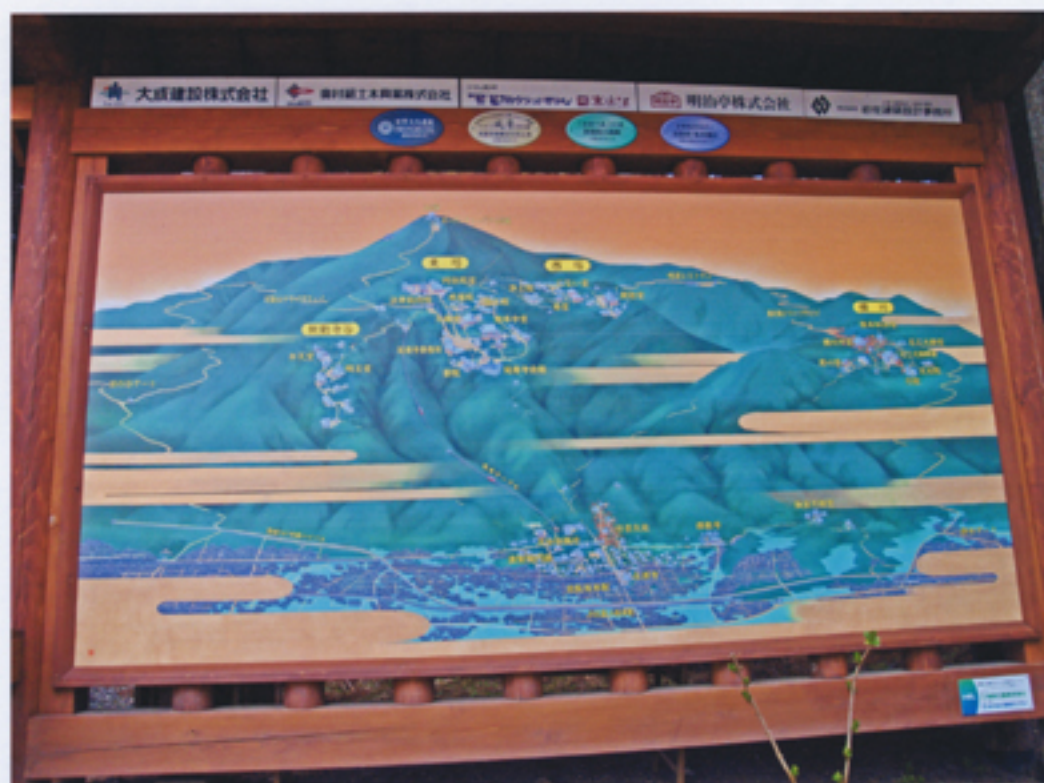
南北に連ねる山々全体をいい 古くから都をまもる神聖な山とされていた

延暦四年奈良東大寺で正式の僧



(お坊さん)の資格を取った最澄(後の伝教大師)は比叡山に分け入り、そまつな草葺小屋を作って修行に入った。その後最澄は国の平和と国民の幸福を祈るためのお堂を建てた。最澄は中国の仏教を学ぶため桓武天皇の許しを得て中国にわたり天台で一年を費やし天台の教えを授かる。帰国した最澄から天台の教えを深く理解した天皇は最澄に天台宗を開く許可を与える。こうして天台宗は延暦二十五年(西暦八〇六年)当時の朝廷から国家公認の仏教として認められた。それ以来千二百年、天台宗は伝教大師最澄の教えが受け継がれて充実発展してきた。比叡山で修行を重ねて仏教の大切さを学び、みずから宗派をつくって独立した高僧たちも沢山

いることから、比叡山は日本仏教の大本といわれる。主なものに法然上人は浄土宗、栄西禅師は臨済宗、親鸞聖人は浄土真宗、道元禅師は曹洞宗、日蓮上人は日蓮宗を開いた。徳川家康・秀忠・家光の三代につかえ上野寛永寺を建てた慈眼大師天海も比叡山で学んだ僧で比叡山の復興に尽くした高僧である。



平成二十一年四月十二日 天台宗沼田部比叡山団参で元三大師堂を参拜

病魔退散・厄難消除のご祈祷とお札を受ける

小冊作成・須藤 充